

令和5年4月 - 令和6年3月

横浜 国際協力 センター

YOKE

FAO

WFP

IFAD

ITTO

+

JICA

国際平和 SDGs

小学校 出前講座



参加機関

YOKE

FAO

WFP

IFAD

ITTO

JICA

横浜시는、国際平和やSDGsの達成を目指して、国際交流、国際協力、多文化共生等の重要性を広く小学生のみなさんに知ってもらうために、小学校への出前講座を企画しています。地球規模で生じる飢餓、貧困や環境破壊等の課題を解決するため、横浜市国際協力センターに入居する国際機関やJICAが、どのような活動をしているのかを学び、平和に向けて私たち一人ひとりができることを考えてみませんか。アニメーション動画、ゲームなどのコンテンツ盛りだくさんの講座です。この機会に出前講座の活用をご検討いただき、ぜひお気軽にお声かけください。

授業実績（令和3年度・4年度）

令和3年度（4～6年生）

緑園西小学校、上末吉小学校、梅林小学校、
東山田小学校、保土ヶ谷小学校、旭小学校、奈良小学校

令和4年度（4～6年生）

折本小学校、十日市場小学校、鴨居小学校、川和小学校、師岡小学校、荏子田小学校、
丸山台小学校、相沢小学校、市場小学校けやき分校、大曾根小学校、羽沢小学校、
庄戸小学校、中川西小学校、別所小学校、川上北小学校

横浜市国際局
（受託者：公益財団法人 横浜市国際交流協会）

本書の見方

基礎編

P.2

「世界の平和のために横浜の子どもたちができること
～よこはま子どもSDGs17+1～」

担当講師

YOKE

専門編

P.4~8

さらに深く学びたい場合はこちらを受講ください

担当講師

FAO

WFP

IFAD

ITTO

JICA

横浜市国際局

(受託者：公益財団法人 横浜市国際交流協会)

基礎編

「世界の平和のために横浜の子どもたちができること ～よこはま子どもSDGs 17+1～」

担当講師



「多文化共生のまちづくり・グローバル人材育成」を支援する公益財団法人
公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE）

Yokohama Association for International Communications & Exchanges(YOKE)

アニメ学習ビデオで楽しく学ぼう！

国際平和や SDG s の達成に向けて、私たち一人ひとりには何が
できるのでしょうか。

この講座を通じて、紛争、飢餓、環境破壊など地球規模の課題の
現状を知り、平和な未来に向けて今私たちができることを考えま
しょう。



授業概要



SDG s の 17 のゴールに、ピースメッセンジャー都市横浜ならではの 18 番
目のゴール「国際交流、国際協力、多文化共生」を加え、「よこはま子
ども SDG s 17+1」とし、国際平和や SDG s の達成について学びます。授
業では、興味を持って取り組めるよう、アニメ学習ビデオを採用しまし
た。学習ビデオは実務体験で訪れた大学生が中心となり、約半年かけて制作し
ました。初めて聞く言葉や内容を子どもたちに受け入れてもらえるよう、
笑いの要素や覚えやすいキーワードをストーリーの中に盛り込み、時には
自らダンスを披露するなど楽しく学習できる内容のビデオです。

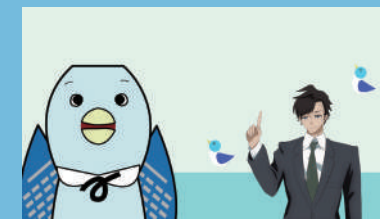
<https://www.yokeweb.com/students/#toc10>



授業詳細

ゲームと歌でSDGsに親しもう！

SDGs+1 に親しんでもらえるよう、ゲームと歌を用意しました。ゲームはサイコロと「SDGs+1」
のゴールが印刷されたシートを使います。サイコロを振って出た数とSDGsの 17+1 のゴールの
中で同じ番号を探します。サイコロを振ってなるべく多くのゴールを目指すゲームです。子ども
SDGs+1 のゴールは、「横浜市歌」のメロディーに合わせて歌うよう工夫されており、メロディーを
聞いて自然と理解が進みます。



オリジナルガイドブック

国際平和の実現に向けて、ピースメッセン
ジャー都市横浜の取組を学ぶことができる
パンフレット、子どもたちが「よこはまこ
ども SDG s」の達成に向けて自らが行動す
るためのヒントとなるガイドブックを利用
校に提供します。



講座の様子



ゲーム中の様子



授業の様子



授業の様子

授業情報

時間 **90 分授業（応相談）**

場所 **教室OK** **体育館OK** **その他応相談**

お申込みは
こちらへ

公益財団法人 横浜市国際交流協会
グローバル人材育成支援課
「YOKE 小学校 SDG s 出前講座」担当

📞 045-222-1174

✉️ gakko@yoke.or.jp



SDGsと国連食糧農業機関（FAO）の活動

担当機関

Food and Agriculture
Organization of the
United Nations

『食料問題』に取り組む国連専門機関

国際連合食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所

Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO) Liaison Office in Japan

授業概要

国連食糧農業機関は、世界の飢餓・栄養不良撲滅を目的とする国連専門機関です。

飢餓・栄養不良の撲滅は SDG 2 に当たりますが、この目標が達成されなければ、密接に関連している他の SDG 目標も達成し難く、従って、17 の SDG 目標の中でも要の目標の一つと考えられ、この SDG2 を主目的とする当方機関の活動も、目標 2 に加えて他の様々な SDG 目標の達成に関連しています。

また、活動は大きく二つに分かれ、一つは世界の食料・農林水産業に関する様々な情報を収集・分析・公表したり、国際的な基準を策定したり、中立的立場の話し合いの場を提供する等、知識の機関としての仕事です。

もう一つは、所謂現場での支援活動になりますが、この二つの分野は夫々独立しているものでなく、相互に関連しております。

授業では、このような当方機関の活動の紹介を通して、SDGs についての理解を一層深めて頂きたいと考えております。



©FAO、キルギスタン



©FAO、ケニヤ

授業情報

時間

応相談

場所

教室OK

体育館OK

オンラインOK

お申込みは
こちらへ

国際連合食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所

担当者：武本



045-222-1101



FAO-LOJ@fao.org



SDGs と国連 WFP の食料支援 ―飢餓ゼロを目指し私たちにできること―

担当機関

World Food
Programme

『食料問題』に取り組む国際機関

WFP 国連世界食糧計画日本事務所（国連 WFP）

World Food Programme Japan Relations Office

授業概要

国連 WFP は、飢餓をゼロにすることを使命に活動する国連唯一の食料支援機関で、2020 年にはノーベル平和賞を受賞しました。

世界の飢餓問題を知ることは国際貢献の大切な一歩です。国連 WFP の実施する授業は、受講者に飢餓問題や食料支援について考え、具体的なアクションを踏み出してもらう機会となることを企図しています。飢餓の状況、国連 WFP の活動内容、SDGs と国連 WFP の活動の関係性、食品ロスの問題、飢餓ゼロに向け個人がこういったアクションを起こすことができるか、などについて資料（穴埋め式のワークシートも配布）や動画を用いて、対話しながら説明します。

また授業後にグループワーク（ディスカッションテーマは「飢餓ゼロを目指して私たちにできる具体的なアクション」「食品ロス削減と飢餓ゼロをつなげるための具体的なアクション」など）と発表を行うことで、アクティブ・ラーニングを実施しています。ご要望に応じてオンラインでの実施も対応しております（Zoom プレイクアウトルームを利用したグループワークも可能です）。

理想は 50 分授業、10 分休憩、20 分グループワーク、15 分発表、10 分質疑応答のトータル 2 コマ分（約 90 分、参加者 15 ～ 30 名程度を想定）まずはお気軽にお問合せください。



©WFP/Cornelia Paetz、ラオス



©WFP/Rein Skallerud、バングラディシュ

授業情報

時間

90 分授業（応相談）

場所

教室OK

体育館OK

複数クラス同時実施 OK

訪問OK

お申込みは
こちらへ

国連 WFP 協会（日本における WFP の公式支援窓口）

担当者：谷川



045-221-2515



lecture@jawfp.org

・国際農業開発基金(IFAD)について知ろう ・国連で働くってどういうこと？

担当機関



『食料問題』に取り組む国際機関

国際農業開発基金 (IFAD) 日本連絡事務所

International Fund for Agricultural Development (IFAD) Japan Liaison Office

- ・国際農業開発基金 (IFAD) について知ろう ⇒世界の食料問題と、IFAD の活動について
- ・国連で働くってどういうこと？ ⇒国連での仕事とキャリアについて

国際農業開発基金 (IFAD) は、ローマに本部を置く国際金融機関であり、国連専門機関でもあります。177 の加盟国 (2022 年 3 月現在) からの拠出金をもとに、栄養に配慮した農業とフードシステムへの持続的かつ効果的な投資を行うため、開発途上国政府への低利子の貸し付け、無償資金協力、人材育成などを組み合わせて実施しています。農村地域の貧困層等の世帯を対象とすることで、栄養面で特に支援が必要なグループ (女性、子ども、若者、障がい者、先住民等) や栄養失調が蔓延している農村部に住む人々にアプローチしています。

小学校での講座では、IFAD が取り組む世界の食料問題と現場で行っている活動について、SDGs と関連付けながらお話しします。また、国連での仕事やキャリアという側面から授業を行うことも可能です。



©IFAD/GMB Akash



©IFAD/

授業情報

時間

応相談

場所

教室OK

体育館OK

オンラインOK

お申込みは
こちらへ

国際農業開発基金 (IFAD) 日本連絡事務所

担当者：加藤



045-225-8267



japanliaison@ifad.org

「世界の森と私たち」 ～地球の森林と環境を守るために私たちにできることは？～

担当機関



『地球環境の問題』に取り組む国際機関

ITTO 国際熱帯木材機関 (国連条約世界本部)

International Tropical Timber Organization (ITTO)

1 目的・ねらい

世界の広さと地球環境、世界の自然の多様性と熱帯林減少の問題と私たちの日常生活とのかかわりなどについて、実感をもって理解してもらえよう話をします。

2 内容 (実施時間などに応じて内容を調整します。)

(1) 自然の景観と森林の状態、森に暮らす動植物や人の文化と生活について

- ・ 熱帯雨林、サバンナ、マングローブ林等

- ・ 陸生種の 3/4 は森林に生息、16 億人が森林に依存、1.5 億人のタンパク源は野生動物

(2) 世界の森林減少について (私たちの生活との関連性について、身近な食物などを例に話をします。)

- ・ 森林減少は横浜市の面積の 300 倍 / 年、農業開発が原因、二酸化炭素排出量の 2 割

授業概要



©ITTO

授業情報

時間

10時～17時の間で応相談

場所

教室OK

体育館OK

オンラインOK

お申込みは
こちらへ

国際熱帯木材機関 (ITTO)



045-223-1110



itto@itto.int

JICA 横浜国際協力出前講座

担当機関



JICA 独立行政法人国際協力機構

Japan International Cooperation Agency

授業概要

SDGs と聞くと、どこか遠い国の話や自分たちには関係ないように思う方もいるかもしれません。しかし、私たちの日常とも深く結びついています。私たちの出前講座では、子どもたちに SDGs や開発途上国、国際協力を自分たちに関係のあるものと感じてもらい、その上で自分の身の回りや世界のことを考えてもらうきっかけづくりを心掛けています。

講師は開発途上国で国際協力に携わってきた JICA ボランティア経験者や JICA スタッフといった実体験を持った者が担当します。

開発途上国での国際協力活動のお話をしますが、その中で世界は多様であること、開発途上国を対等のパートナーとして接する視点を大切にしています。

お話は写真や映像を交えながら、生の体験をお伝えしていきます。

また希望があればワークショップ形式での授業も可能です（講師に限られるため、要相談）。



photo:JICA/Takeshi Kuno



photo:JICA/Koji sato

授業情報

時間

応相談

場所

教室OK

体育館OK

お申込みは
こちらへ

独立行政法人国際協力機構 横浜センター



045-222-7161



jicayic-plaza1@jica.go.jp